

## 【現代社会・家庭基礎 1 学年】

実施日：令和2年9月24日(木)第3限

単 元 (教 材) 名
家庭基礎：これからの消費生活と環境 現代社会：豊かな生活の実現

### 【この単元のねらい・目標】

現代の社会には「消費者問題」や「労働問題」、「格差問題」など様々な社会問題が存在しており、相互に関連しあっていることを理解させる。社会問題の改善や解決に向けて、資料やデータを読み取り、現状を把握し、多面的・多角的な視点を持って考察・判断・表現する力を育成する。更に、社会の形成者として、豊かな社会を実現するために、自らの行動から社会問題の解決に向かおうとする自覚と実践力を身につけさせる。

### 【本時のねらい・目標】

コロナ禍の現状から、これまでの自分自身の生活様式を見直し、SDGsの実現に向けた取り組みについて考察し、表現できる。その過程において、これまでの公民科と家庭科の学びを活用し、社会問題の解決の糸口が自分たちの行動にあることを認識する。

### 【この教材で特に意識する「科学的思考力(SW-ing SLC)」】

項 目	内 容
B 課題理解・発見力 E 考察・統合力	ii：設定された課題の条件を的確に把握できる。 i：これまでの経験や学習によって得た知識や情報を統合して推測したり、課題について自分の意見や考察を論理的に組み立てたりすることができる。

### 【教材開発において特に意識したこと・工夫】

- ・実際の社会で起こっている問題を取り上げて教材化することで、各教科での学びが自身の生活に直結するものであることを実感し理解できるように意識した。
- ・「消費者問題」や「ジェンダー」、「労働問題」など、家庭科と公民科の両教科からのアプローチをすることにより、それぞれの教科の視点における見方・考え方を認識できるよう工夫した。

### 【全体の指導計画（全4時間）】

- 第1時 SDGsについて  
第2時 日本や世界各国の取り組み、様々な企業や自治体の取り組みについて  
第3時 「新しい生活様式」でのSDGs達成に向けた取り組みを考える。(1/2)・・・【本時】  
第4時 「新しい生活様式」でのSDGs達成に向けた取り組みを考える。(2/2)

【第3時の授業展開】

時間	内 容
導入 5分	前時の学習の振り返り，本時の目標，活動の確認
展開① 5分	新型コロナウイルス感染症が社会に与えた影響や私たちの生活にもたらした変化について考える。 → 自分の考えをワークシートに記入するだけでなく，発表された他者の意見もメモさせることで，クラス間での意見の共有を図る。
展開② 35分	テーマごとのグループに分かれ，SDGsの目標達成につながる「新しい生活習慣」や行動様式を考える。 (テーマ：教育，食，環境・資源，衛生・福祉，住，労働 など) → SDGsの実現に向け，与えられたテーマにおける社会の変化や問題点を挙げ，その解決につながる行動様式を考察する。SDGsの実現につながるアイデアを考えることで，実社会とのつながりを実感する。また，身近な行動の見直しが社会の問題を解決する第一歩であることを理解する。さらに，現代社会や家庭科の資料を活用することにより，様々な教科での学びが活用できることを知る。 *グループワークの際には，大きめの付箋を使用することで，会話量が少なくても意見の共有が図りやすいように工夫する。
まとめ 5分	今日の授業について振り返り，自己評価を行う。

【使用プリント等】

- ・ワークシート（授業者作成）
- ・SDGsに関する資料を集めたプリント（授業者作成及び生徒収集）
- ・電子黒板に投影するスライド

【評価について】

- 評価A：新型コロナウイルス感染症が現代社会にもたらした影響や変化を考察し，自分たちが日常生活からどう行動していくべきかを，学習内容をふまえてSDGsの視点から考察し，表現できる。
- 評価B：自分たちが日常生活からどう行動していくべきかを，学習内容をふまえてSDGsの視点から考察し，表現できる。
- 評価C：自分たちが日常生活からどう行動していくべきかについて，学習内容をふまえての考察が不十分である。

評価Cの生徒に対する手立て

コロナ禍における社会の変化や影響を整理させ，自らの行動や生活様式を見直し，SDGsの視点に着目させながら改善点を考察させることで，身近な生活のあり方が社会問題解決に向けた出発点となり，学習内容が生活と直結していくことを理解させる。